

プログラム

神田川、隅田川など東京の河川を中心とする産業、賑わい、景観の再生のために、今、何が必要で何ができるか。市民、NPO、流域自治体、学識、事業者などの協働による新たな仕組みづくりへの道を探ります。

第1部 東京の河川をめぐる新しい動き（話題提供）13：30－14：30 <S405 教室>

① 都心河川を賑わいの場と観光資源に！

報告者：長崎純一（東京都産業労働局観光部副参事）

コメンテーター：陣内秀信（法政大学大学院エコ地域デザイン研究所所長）

② 市民と共につくる明日の東京の河川

報告者：宮本恭介（中央区土木部参事）

コメンテーター：神谷 博（法政大学大学院エコ地域デザイン研究所研究員）

③ 川と岸辺から考える景観づくり

報告者：鹿野陽子（東京大学大学院農学生命科学研究科研究員）

コメンテーター：川西崇行（慶應義塾大学文学部講師）

第2部 分科会（ワークショップ）14：45－15：55 <S401～S404 教室>

第1部のテーマごとにワークショップを行います。

発表・質疑応答・まとめ 16：00－17：00 <S405 教室>

交流会 17：15－18：45 <ボアソナードタワー26階ラウンジ>

都心河川フォーラム 2007 実行委員会

◆神田川ネットワーク

神田川水系に関わる環境保全・育成活動を行なっている市民団体と神田川に関心のある個人を主たる構成メンバーとして、91年から活動を続けている。水害や汚染がなく、清冽な水が流れ、美しい風景が保全され、生きものたちが棲みやすい神田川になることを目的として、調査研究、実践、啓蒙、意見提案などに取り組んでいる。関係団体約30団体、メンバー数約1000人。

代表：糸井 守 事務局長：市橋 綾子

事務局所在地：〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-15-6 和久井ビル2F

TEL/FAX：03-5377-1070 E-mail：kandagawanet@yahoo.co.jp

◆江戸東京の川再発見実行委員会

2003年、日本橋川、神田川、隅田川、小名木川などの都心河川の再生をめざして結成。これまでシンポジウム、舟運イベントなどを開催。とりわけ日本橋川の常盤橋防災船着場をベースにした「舟遊イベント」は今年で5回目を迎え、都心観光の目玉としての舟運ネットワーク構築をめざす。

代表幹事：上林武人

事務局所在地：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-2 末広ビル7F 月刊日本橋編集部内

TEL：03-6202-1221 FAX：03-6202-1224 E-mail：kamba@nihombashi.co.jp

◆法政大学大学院エコ地域デザイン研究所

「環境の時代」を切り開く真の「都市と地域の再生」のための方法を研究することを目的とする。とくに、長い歴史のなかで豊かな環境を育みながら、20世紀の「負の遺産」におとしめられた水辺空間を再生し、21世紀の都市・地域づくりの大きな柱にすることを目指す。

環境のバランスと文化的アイデンティティを失った日本の都市や地域を持続可能で個性豊かに蘇らせるために、〈エコロジー〉と〈歴史〉を結びつける独自のアプローチをとるところに、この研究所の大きな特徴がある。

世界の人々から注目を集める東京を重要な研究対象とすることも、この研究所のもう一つの特徴である。他の国、地域の都市と比較しながら、東京の水辺空間のあり方を深く研究し、その再生のための具体的な方法を積極的に提言していく。

所長：陣内秀信（法政大学デザイン工学部建築学科教授）

事務局所在地：〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2

TEL：042-387-6365 E-mail：eco-history@k.hosei.ac.jp

HP：<http://www.eco-history.com/>